

ており、それに伴い執行役員を本制度導入のために設定済みである信託（以下「本信託」といいます。）の対象者から除外すると共に、当社及び当社主要子会社の従業員を対象とするインセンティブ・プランとして2022年3月1日に導入した「従業員向け株式交付信託」の対象者に追加しております。そのため、現在の本信託の対象者は、当社及び当社主要子会社の取締役（以下、総称して「取締役」といいます。）となります。

本自己株式処分は、本信託の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に対して行うものであります。

処分数量につきましては、本制度導入に際し当社が制定済みである株式交付規程に基づき、延長した信託期間中の取締役の役位及び構成推移等を勘案のうえ、取締役に交付すると見込まれる株式数に相当するものであり、その希薄化の規模は、2024年3月31日現在の発行済株式総数13,469,387株に対し、0.61%（2024年3月31日現在の総議決権個数125,918個に対する割合0.65%。いずれも、小数点以下第3位を四捨五入）となります。

当社としましては、本制度は取締役の報酬と当社株式価値の連動性を明確にし、中長期的には当社の企業価値向上に繋がるものと考えており、本自己株式処分による処分数量及び希薄化の規模は合理的であり、流通市場への影響は軽微であると判断しております。

（ご参考）本信託に係る信託契約の概要

委託者	当社
受託者	三井住友信託銀行株式会社 （再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行）
受益者	取締役のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社及び当社役員から独立した第三者
議決権行使	信託の期間を通じて、本信託内の当社株式に係る議決権は行使いたしません
信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）
信託契約日	2019年8月23日
信託の期間	2019年8月23日～2029年8月末日（予定）
信託の目的	株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること

3. 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、最近の株価推移に鑑み、恣意性を排除した価額とするため、2024年8月7日（取締役会決議日の直前営業日）の東京証券取引所における終値である1,533円といたしました。取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、取締役会決議日の直前の市場価値であり、算定根拠として客観性が高く合理的なものであると判断したためです。

当該価額については、取締役会決議日の直前営業日の直近1ヵ月間（2024年7月8日～2024年8月7日）の終値平均1,678円（円未満切捨て）からの乖離率が▲8.64%、直近3ヵ月間（2024年5月8日～2024年8月7日）の終値平均1,699円（円未満切捨て）からの乖離率が▲9.77%、あるいは直近6ヵ月間（2024年2月8日～2024年8月7日）の終値平均1,781円（円未満切捨て）からの乖離率が▲13.92%となっております（乖離率はいずれも小数点以下第3位を四捨五入）。

上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、処分予定先に特に有利なものとはいえ、合理的と考えております。

また、上記処分価額につきましては、監査役全員（4名。うち2名は社外監査役）が、処分価額の算定根拠は合理的なものであり、処分予定先に特に有利な処分価額には該当せず適法である旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

以 上